【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和2年8月6日(2020.8.6)

【公開番号】特開2019-9527(P2019-9527A)
【公開日】平成31年1月17日(2019.1.17)
【年通号数】公開・登録公報2019-002
【出願番号】特願2017-121559(P2017-121559)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/765　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/232　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/765
Ｈ０４Ｎ　5/232　３００
Ｈ０４Ｎ　5/232　９４１

【手続補正書】
【提出日】令和2年6月18日(2020.6.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
動画像信号を取得する取得手段と、
前記動画像信号を記録媒体に記録する記録手段と、
第１の出力端子に外部装置が接続されたことを検知する検知手段と、
前記検知手段による検知に応じて、前記第１の出力端子よりも所定の性能が制限された第２の出力端子から第２の形式で出力している前記動画像信号を、前記第１の出力端子から第１の形式で出力するように出力を切り替える制御手段と、を有し、
前記制御手段は、前記第１の出力端子への接続が検知されたときに、前記記録手段が前記動画像信号を記録している場合には、前記第１の出力端子からの出力に切り替えない、ことを特徴とする画像処理装置。
【請求項２】
前記制御手段は、前記外部装置の接続が検知されたときに前記記録手段が前記動画像信号を記録している場合、前記第１の出力端子からの出力が制限されていることを示す所定のメッセージを、前記第２の出力端子に接続された表示装置に表示させる、ことを特徴とする請求項１に記載の画像処理装置。
【請求項３】
前記制御手段は、前記第２の出力端子からメタデータを重畳した動画像信号を出力することにより、前記所定のメッセージを前記表示装置に表示させる、ことを特徴とする請求項２に記載の画像処理装置。
【請求項４】
ユーザ操作を受け付ける操作手段を更に有し、
前記制御手段は、前記所定のメッセージを表示させたことに対する前記ユーザ操作を、前記操作手段を介して受け付けたことに応じて、前記動画像信号を前記第１の出力端子から前記第１の形式で出力するように出力を切り替える、ことを特徴とする請求項２又は３に記載の画像処理装置。
【請求項５】

前記制御手段は、前記記録手段による前記動画像信号の記録が完了したことに応じて、前記動画像信号を前記第１の出力端子から前記第１の形式で出力するように出力を切り替える、ことを特徴とする請求項１から４のいずれか１項に記載の画像処理装置。
【請求項６】
前記画像処理装置は、前記動画像信号を表示させる表示手段を有しない、ことを特徴とする請求項１から５のいずれか１項に記載の画像処理装置。
【請求項７】
前記所定の性能は、出力端子から出力可能な動画像信号の解像度の大きさに関する、ことを特徴とする請求項１から６のいずれか１項に記載の画像処理装置。
【請求項８】
前記所定の性能は、出力端子から出力可能な動画像信号のフレームレートの高さに関する、ことを特徴とする請求項１から７のいずれか１項に記載の画像処理装置。
【請求項９】
前記取得手段に、撮像した前記動画像信号を出力する撮像手段を更に有する、ことを特徴とする請求項１から８のいずれか１項に記載の画像処理装置。
【請求項１０】
第１の出力端子と、第２の出力端子とを備える画像処理装置の制御方法であって、
取得手段が、動画像信号を取得する取得工程と、
記録手段が、前記動画像信号を記録媒体に記録する記録工程と、
検知手段が、前記第１の出力端子に外部装置が接続されたことを検知する検知工程と、
制御手段が、前記検知工程における検知に応じて、前記第１の出力端子よりも所定の性能が制限された前記第２の出力端子から第２の形式で出力している前記動画像信号を、前記第１の出力端子から第１の形式で出力するように出力を切り替える制御工程と、を有し、
前記制御工程では、前記第１の出力端子への接続が検知されたときに、前記記録手段が前記動画像信号を記録している場合には、前記第１の出力端子からの出力に切り替えない、ことを特徴とする画像処理装置の制御方法。
【請求項１１】
前記制御工程では、前記外部装置の接続が検知されたときに前記記録手段が前記動画像信号を記録している場合、前記第１の出力端子からの出力が制限されていることを示す所定のメッセージを、前記第２の出力端子に接続された表示装置に表示させる、ことを特徴とする請求項１０に記載の画像処理装置の制御方法。
【請求項１２】
前記制御工程では、前記第２の出力端子からメタデータを重畳した動画像信号を出力することにより、前記所定のメッセージを前記表示装置に表示させる、ことを特徴とする請求項１１に記載の画像処理装置の制御方法。
【請求項１３】
ユーザ操作を受け付ける操作工程を更に有し、
前記制御工程では、前記所定のメッセージを表示させたことに対する前記ユーザ操作を、前記操作工程において受け付けたことに応じて、前記動画像信号を前記第１の出力端子から前記第１の形式で出力するように出力を切り替える、ことを特徴とする請求項１１又は１２に記載の画像処理装置の制御方法。
【請求項１４】
前記制御工程では、前記記録手段による前記動画像信号の記録が完了したことに応じて、前記動画像信号を前記第１の出力端子から前記第１の形式で出力するように出力を切り替える、ことを特徴とする請求項１０から１３のいずれか１項に記載の画像処理装置の制御方法。
【請求項１５】
前記画像処理装置は、前記動画像信号を表示させる表示手段を有しない、ことを特徴とする請求項１０から１４のいずれか１項に記載の画像処理装置の制御方法。

【請求項１６】
前記所定の性能は、出力端子から出力可能な動画像信号の解像度の大きさに関する、ことを特徴とする請求項１０から１５のいずれか１項に記載の画像処理装置の制御方法。
【請求項１７】
前記所定の性能は、出力端子から出力可能な動画像信号のフレームレートの高さに関する、ことを特徴とする請求項１０から１６のいずれか１項に記載の画像処理装置の制御方法。
【請求項１８】
前記取得工程には、撮像した前記動画像信号を出力する撮像工程を更に含む、ことを特徴とする請求項１０から１７のいずれか１項に記載の画像処理装置の制御方法。
【請求項１９】
コンピュータを、請求項１から９のいずれか１項に記載の画像処理装置の各手段として機能させるためのプログラム。